

昨今、旅行会社が企画する募集型旅行には、「体験型」「アクティビティ」という用語が目立つようになりました。体験型とは、自然と触れ合い、親しむことをテーマとしたツアーの一つで、登山やラフティング、スキューバーダイビングなどがあげられます。

こういった体験型のツアーでは、山での落石や突然の噴火、川での急激な増水、海での高波、離岸流といった自然災害や天候状況などにより、ツアー事業者の判断でやむを得ず行程の変更・中止が必要となる場合があります。

観光庁は、近年の国内旅行での観光バスや観光船といった交通機関が原因となった重大事故を受け、旅行関係団体などに対して、現地の状況を踏まえた安全確保の徹底を要請しています。

体験型ツアーを申し込む際は、気象条件などによってツアーが実施できない可能性も含め、旅行業者の定める旅行業約款を事前によく確認するようにしましょう。

また、楽しい旅行となるよう、私たち消費者一人一人が危機管理の意識を持つことも大切です。安全安心な旅選びの目安として、「旅行業公正取引協議会」のマークを参考にしていかがでしょうか。このマークの付いた旅行会社のパンフレットは、旅に必要な情報が明示されているため、自分に合ったツアー選びの一助となります。

最近では、オンライン旅行予約サイトを利用する方も増えてきました。オンラインの宿泊予約は、予約確認画面の確定ボタンを押すことで契約が成立します。確定ボタンを押す前に、宿泊人数や宿泊プランなどを再度確認してください。

キャンセル料や変更に関する手数料は、各旅行サイトによって異なりますので、よく確認したうえで申し込みましょう。



安全安心な旅の目安になるマーク